

職場体験 感想文コンクール2025

タイトル	将来のために	事務局	121
学校名	酒田市立第三中学校	氏名	佐藤 大志

先日、僕は庄川ヤクルトや正覚会、かたばみ会で2日間の職場体験をさせていただきました。この貴重な経験を通して学校では学ぶことのできない、働かざる者食てなしの社会で生きていくスキルについて深く考えることができました。

体験させていただいたかたばみ会の仕事は、僕が想像していたよりもっと糸田やかたばみで多くの人との連携が必要不可欠でした。特に印象に残っているのはお年寄りとの接し方など、具体的な仕事を体験させていただいたことです。この作業に取り組みの中で、仕事の大切さ、コミュニケーションの難しさを感じました。

職場の皆さんは、いつも丁寧かつ親切に指導してくれたり、質問には一つ一つ分かりやすく答えてくださいました。その中でプロフェッショナルとしての仕事への姿勢を間近で感じる事ができました。

特に指導してくれた社員の方のエピソードは僕の心に強く残っています。今回の職場体験は僕にとって将来の進路を真面目に考えるための決定的なきっかけとなりました。これまで漠然と医学分野を考えていましたが、今回の体験でコミュニケーション能力や論理的思考力などがどの分野で特に必要とされるスキルであると目覚めになりました。体験を通じて僕は特に人の介助が得意なこと気づくことができました。一方で自分に不足している課題もはっきりと見えました。消極的かつコミュニケーションが苦手なことです。これらの課題を克服し、将来の目標を実現するため僕は以下のことを学校生活で実践していきたいと考えています。1つ目は基礎英学力の向上です。どの仕事も土台となる知識が必須であることを痛感したため、特に英語を中心に一つ一つ着実に知識を身につけます。2つ目は主体的なコミュニケーションです。職場での報告・連絡・相談の

重要性を学びました。積極的に質問し、自分の意見を明確に伝える練習を学校の班活動などで意識的に行います。3つ目は時間管理と計画性です。作業の遅れが全体に影響することを学んだため、学校の課題や生活の中で常に締め切りを意識し逆算して計画を立てる習慣をつけます。

この職場体験は、単なる社会見学ではありませんでした。これは社会の厳しさと同時に働くことの大切さとやりがいも教えてくれた「将来のための授業」でした。この経験で「得た知識」と気づき「胸に自分のやりたい「将来の夢」に向けて、一歩ずつ着実に成長していきたい」と思っています。